

平成30年度 保護者アンケート（まとめ）

1 そう思う 2 どちらかというと思う 3 どちらかというと思わない 4 思わない 5 分からない		1	2	3	4	5	
旭 中 生 の 様 子	1	お子様は、学校生活を楽しんでいる。	51.2%	38.6%	6.2%	1.8%	2.1%
	2	お子様の友だち関係は、良好である。	46.8%	43.6%	4.9%	2.5%	2.0%
	3	お子様は、自分には良いところや長所があると思っている。	40.1%	45.8%	7.8%	1.7%	4.3%
	4	お子様は、体育大会、文化発表会等の学校行事を楽しみにし、意欲的に参加している。	45.9%	37.5%	9.9%	3.9%	2.4%
	5	お子様は、意欲や目標をもって学習に取り組んでいる。	23.2%	43.4%	21.1%	8.6%	3.3%
	6	お子様は、部活動に進んで参加し、意欲的に取り組んでいる。	52.6%	26.1%	4.7%	10.9%	3.9%
平均			43.3%	39.1%	9.1%	4.9%	3.0%
学 習 ・ 指 導 ・ 進 路 に 関 関	7	学校（教員）は、授業を大切に、生徒の学習意欲を高め、学力を向上させるよう努めている。	17.2%	54.9%	11.4%	3.2%	12.5%
	8	学校（教員）は、学習における生徒の能力や努力を適切に評価している。	15.0%	52.6%	14.6%	7.6%	10.0%
	9	学校（教員）は、生徒に自分の生き方をよく考えさせ、夢や目標をもった生徒を育てようとしている。	12.8%	44.9%	15.4%	5.8%	20.8%
	10	学校（教員）は、将来の進路や職業について考えさせる指導を適切に行っている。	15.4%	43.3%	14.3%	5.9%	20.8%
	平均			15.1%	48.9%	13.9%	5.6%
生 活 ・ 心 に 関 す	11	学校（教員）は、生徒に寄り添い、理解しようと努めている。	17.6%	54.9%	12.1%	5.8%	9.5%
	12	学校（教員）の指導により、生徒には、挨拶・身なり・言葉遣いなどの基本的な生活習慣が身についている。	16.8%	55.3%	12.1%	5.4%	10.3%
	13	学校（教員）は、いじめ防止に取り組むとともに、いじめや規律を乱す行動などに、素早く対応し指導している。	19.3%	48.2%	10.4%	4.6%	17.2%
	14	学校（教員）は、道徳教育を中心とした心の教育を大切にしている。	15.7%	46.3%	10.7%	4.2%	22.8%
	平均			17.4%	51.2%	11.3%	5.0%
関 安 全 ・ 指 導 に	15	学校は、安全に気を配り、施設設備及び校舎内外の環境整備を十分行っている。	21.4%	54.7%	6.2%	1.8%	15.4%
	16	学校は、防犯・防災面での安全教育を適切に行っている。	19.7%	57.0%	6.2%	1.6%	15.3%
	17	学校は、健康増進や病気・けがの予防について適切に指導している。	23.3%	55.8%	5.9%	1.7%	13.0%
	平均			21.5%	55.8%	6.1%	1.7%
連 携 ・ 情 報 発 信	18	学校は、学校の考えや学習内容、行事、生徒の様子等を学校だよりやホームページなどによって適切に知らせている。	33.3%	53.4%	5.3%	1.8%	6.1%
	19	学校は、保護者が授業などを参観する機会を十分設けている。	37.9%	51.4%	5.4%	2.1%	3.2%
	20	学校は、適切に保護者との相談や連絡を行い、家庭との連携を密にしている。	27.2%	48.4%	12.0%	5.1%	7.0%
	平均			32.8%	51.1%	7.5%	3.0%

【学校より】

- ・ 今年度の回収率は、83%でした。昨年度の90%から下がりましたが、多くの皆さんにご協力いただき、感謝申し上げます。
- ・ 昨年度と比べて、1、6の項目に対する肯定的な回答が微増し、保護者の皆様の多くは、旭中生の学校生活は概ね良好で、部活動にも熱心に取り組んでいると感じておられるようです。しかしながら、昨年度と同様に学習に対して目標や意欲をもてない生徒が依然として多いことも分かります。このことは9の項目で否定的な回答が他と比べ高くなっていることにも関連していると考えます。本校では、将来に夢や希望をもち、前向きに生活できる生徒を育成するために、毎年「夢と絆の講演会」を実施していますが、これだけで十分な効果を得られるわけではありません。今後は、将来への希望が学習することの意義へとつながる教育活動を進めなければならないと考えます。
- ・ 「進路指導」や「道徳教育」については、「わからない」と回答する割合が高くなっています。生徒の内面への働きかけであり、教員にとっても評価が難しい項目です。教員自身が研鑽を積むと同時に、情報発信の仕方も工夫していきたいと考えます。31年度から教科化される道徳については、引き続き研修を深めていきます。